

オリンピックボランティア募集に関する調査 ～「オリンピックボランティア」を希望しますか？～

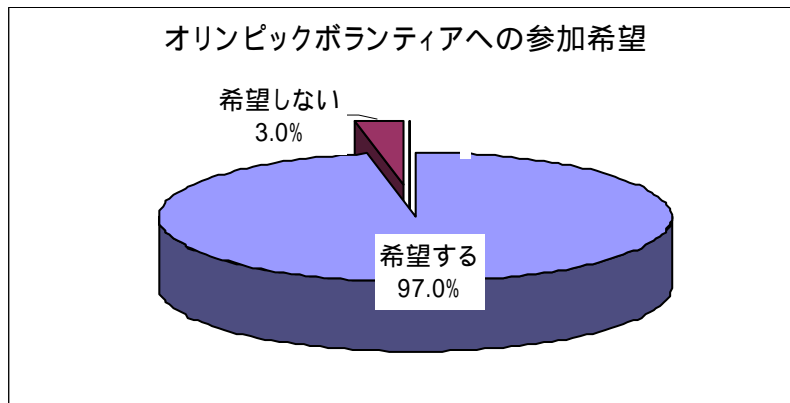
MDBネットサーベイChinaでは、『オリンピックボランティア募集に関する調査』を実施しました。中国15都市の1,508名の各階層の人々を対象として、「あなたはオリンピックボランティアを希望しますか？」というアンケート調査を実施しました。

MDBネットサーベイChinaとは、MDBと上海中智庫市場研究会社が共同で運営するインターネットリサーチシステムです。現在、中国の登録モニターは約160万人です。

北京オリンピック委員会によると、オリンピックボランティアの募集は2006年8月に正式にスタートする。MDBネットChinaでは、今年創立13年を迎え中国ボランティアサービス協会への一般市民の参与意向や、ボランティア活動に対する意識や評価を調査しました。

1. オリンピックボランティアへの参加希望者は97.0%。

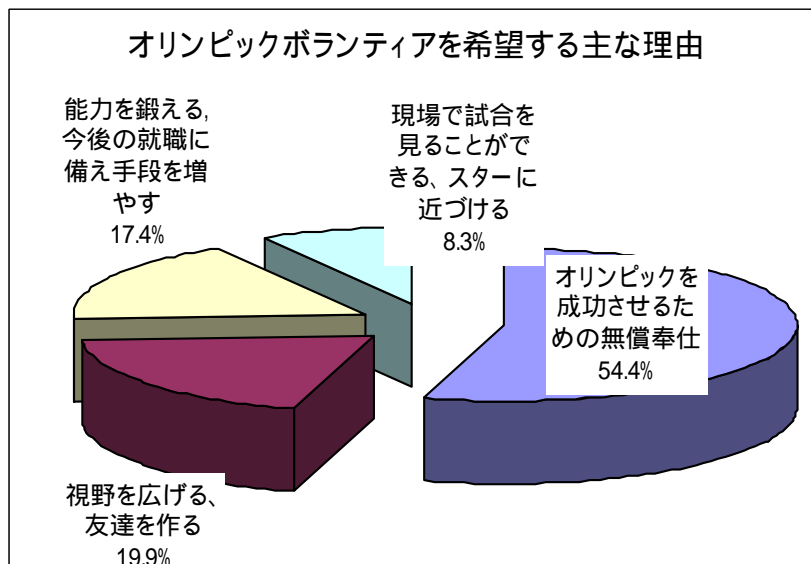
本調査を通じて、97.0%の人々がオリンピックボランティアへの参加希望があることがわかった。これは、実際に参加する／しないという問題を別にして、多くの人々がオリンピックボランティアの予備軍であることを意味しているといえるだろう。



2. オリンピックボランティアを希望する理由

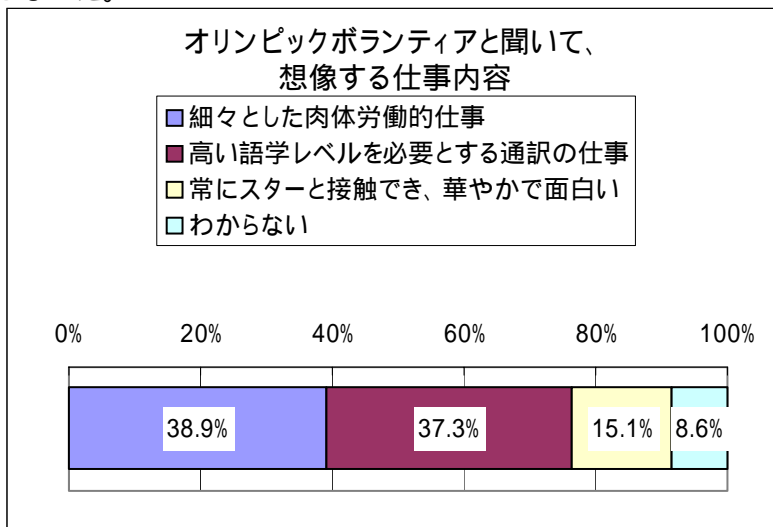
オリンピックボランティアを希望する理由をたずねたところ、以下のような結果となった。

第1位は「オリンピック成功のための無償奉仕」(54.4%)。2位以下は、「視野を広げる、友人を作る」(19.9%)、「能力を鍛える、今後の就職に備え手段を増やす」(17.4%)、「現場で試合を見ることができ、スターに近づく」(8.3%)の順となった。



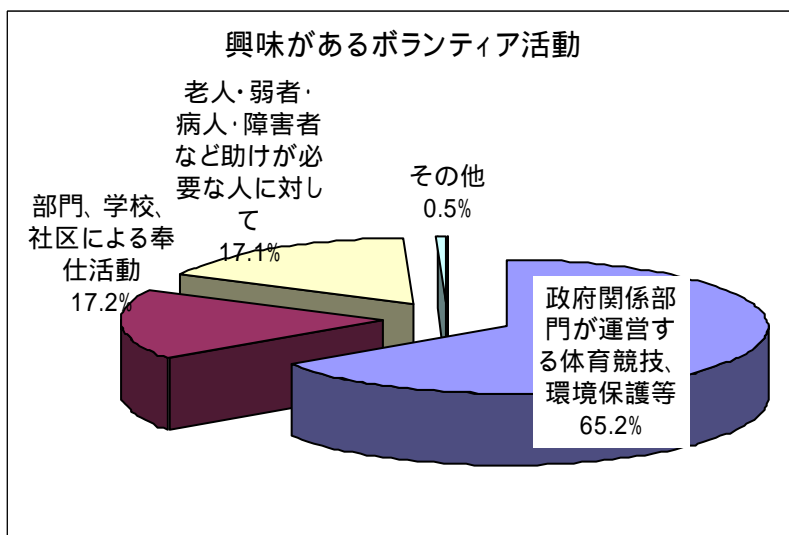
3 . オリンピックボランティアと聞いて想像する仕事内容

オリンピックボランティアは具体的にどのような仕事と思うかをたずねたところ、38.9%の回答者が「細々とした労働集約的な仕事」と答えている。次いで多かった回答は「高い語学レベルを要する通訳の仕事」で、37.4%となった。



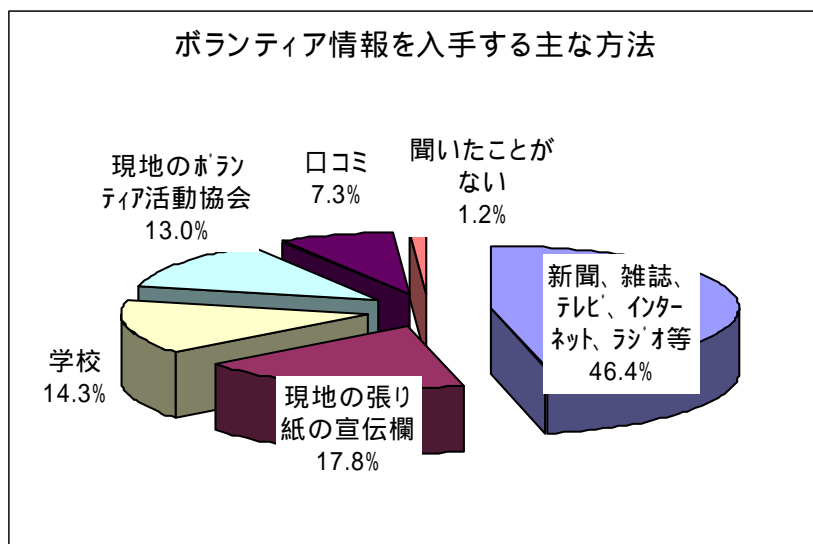
4 . 興味があるオリンピックボランティアの活動内容

ボランティア活動を希望する回答者のうち 65.2%の人が、「政府関係部門が運営する体育競技、環境保護等」に興味があると回答している。次いで「部門、学校及び社区による奉仕活動」が 17.2%、「老人・弱者・病人・障害者及びその他助けが必要な人に対する」ボランティアが 17.1%を占める。



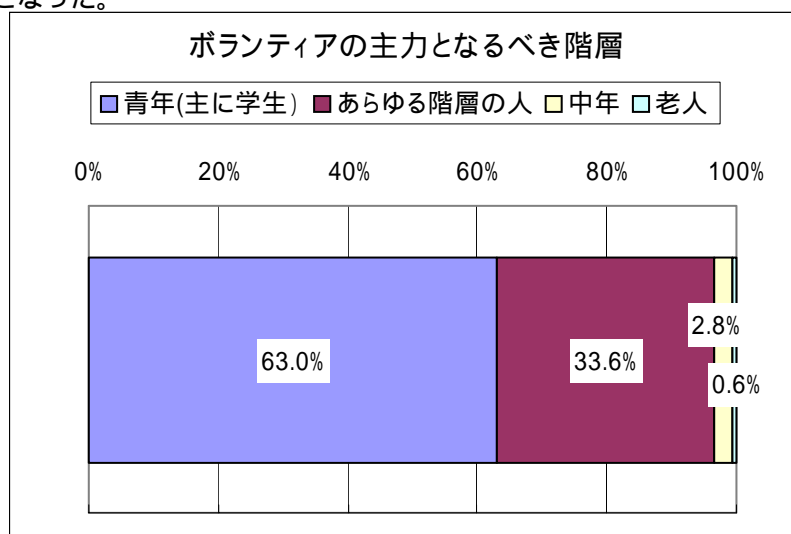
5 . ボランティア情報の入手方法

ボランティアに関する情報の主な入手先をたずねたところ、「新聞、雑誌、テレビ、インターネット、ラジオ等のメディア」との回答が 46.4%。「現地の各種張り紙の宣伝欄」が 17.8%、「学校」と答えた人が 14.3%。「現地のボランティア活動協会」が 13.0%となった。



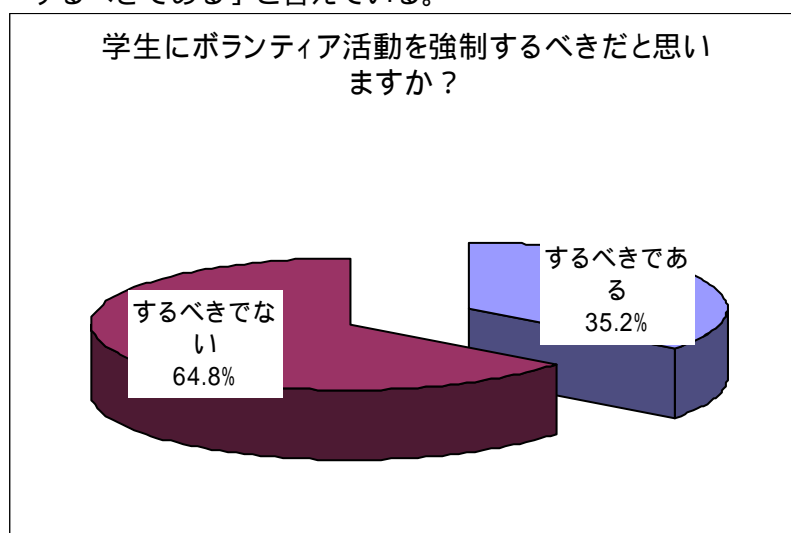
6. ボランティアを担うべきだと思う主体

ボランティアの主力となるべきだと思う階層をたずねたところ、回答者の63.0%が「青年（主に学生）」と答えており、次いで、「あらゆる階層の人」が33.6%を占める。中高年と答えた人は3.4%（「中年」(2.8%) + 「老人」(0.6%)）となった。



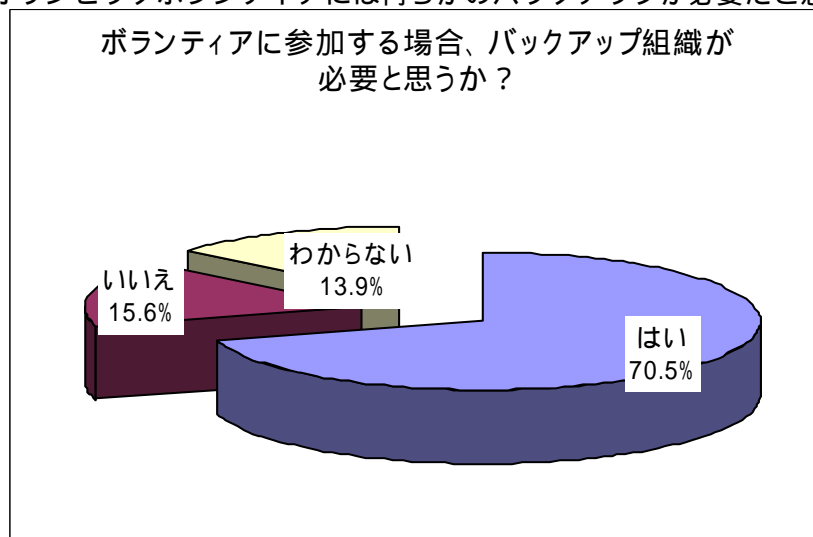
7. ボランティア活動への学生の強制動員

学生に対しボランティア活動を強制するべきかどうかという質問に対し、64.8%の人が「するべきでない」、35.2%の人が「するべきである」と答えている。



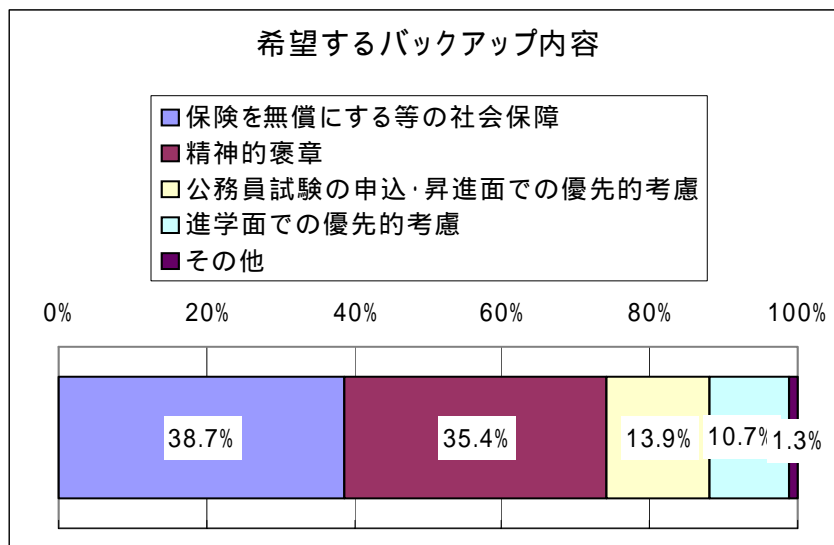
8. ボランティア活動へのバックアップ

70.5%の回答者が、オリンピックボランティアには何らかのバックアップが必要だと感じている。



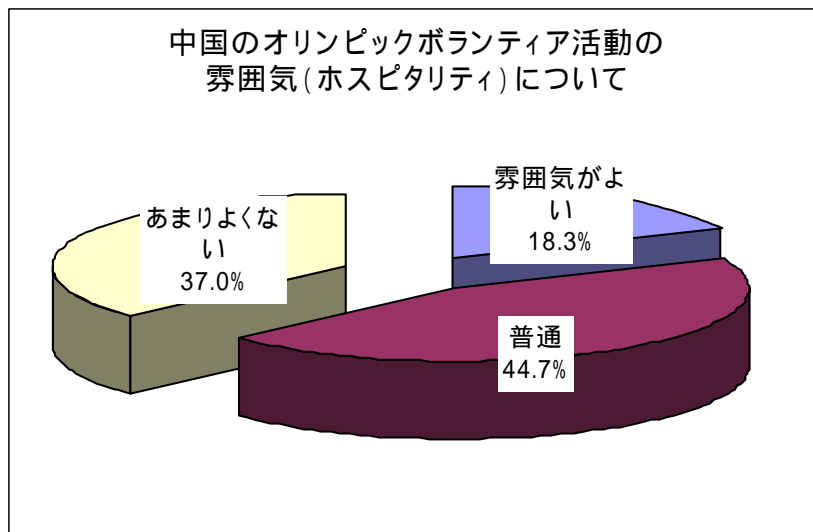
9 . 必要だと思うバックアップ内容

何らかのバックアップが必要だと考える回答者に対し、具体的な内容について聞いたところ、38.7%の人が「保険等の社会保障の措置を無償」で行うべきだと考えている事がわかった。35.4%の人は一定の「精神的褒章」を、13.9%の人は「公務員試験の申込及び昇進面において優先的に考慮」されるべきと答えている。10.7%の人(青年)は、「進学面で優先的に考慮」されるべきであると答えている。



10 . 自国のボランティア活動評価

中国のボランティア活動の水準に対する回答者の総合的な評価は、44.7%の人が「普通」、37.0%の人が「あまりよくない」と答えている。18.3%の人が「雰囲気がよい」と回答した。



調査概要

- 調査実施機関 : 株式会社日本能率協会総合研究所 マーケティング・データ・バンク
 調査方法 : 小社保有の「MDBネットサーベイChina」利用によるインターネットリサーチ
 サンプル数 : 1,508票

本件についてのお問い合わせ先

株式会社日本能率協会総合研究所 マーケティング・データ・バンク
 MDBネットサーベイChina担当
 mail : mdb-net@jmar.co.jp TEL : 03-6212-9125